

**製品名: ATP6V1A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02907**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 68 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATP6V1A
別名	HO68; VA68; VPP2; Vma1; ARCL2D; ATP6A1; IECEE3; ATP6V1A1
遺伝子 ID	523
SwissProt ID	P38606
免疫原	ヒト ATP6V1A の組み換えタンパク質

**背景**

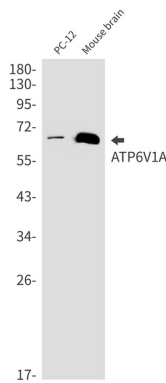
液胞性 ATPase 末梢 V1 複合体の触媒サブユニット。液胞性 ATPase は真核細胞における様々な細胞内コンパートメントの酸性化を担

う。好気条件下では、細胞内鉄恒常性維持に関与し、Fe<sup>2+</sup>プロリルヒドロキシラーゼ (PHD) 酵素の活性を誘導し、HIF1Aの水酸化とそれに続くプロテアソーム分解につながる (PubMed:28296633)。神経突起の発達とシナプス接続にも関与する可能性がある (PubMed:29668857)。

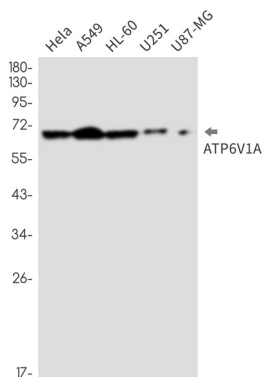
## 研究分野

タグとセルマーカー

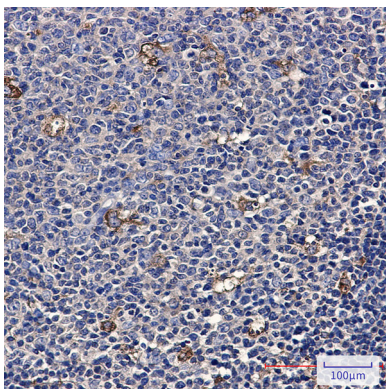
## 画像データ



ATP6V1A 抗体を使用した PC-12 マウス脳溶解物中の ATP6V1A のウェスタンブロット分析。



ATP6V1A 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60、U251、U87-MG 溶解物中の ATP6V1A のウェスタンブロット分析。



ATP6V1A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。